



カヤックでオットット：山口ベンチャー大会（関連記事4・5面）

第1回山口ベンチャー大会：8月18日～20日・徳山市ふれあいの森

# 百万一心

題字は、毛利三十二代毛利元道氏書

第 29 号

発行

平成13年10月30日

山口市神田町1-80

防長青年会館

ボーイスカウト山口県連盟

TEL 083-928-0079

FAX 083-923-8623



## 「百万一心」113年の時代

中部地区委員長 重川 恭年

一九六六年  
(昭和41年)た  
かが35年前、  
されど35年前  
です。第4回

日本ジャンボリーが岡山県の日本  
原で開催されたのは。

その時、私は指導者として初め  
て参加した訳ですが、それはそれ  
は、スカウト達にとっても、指導  
者にとっても辛い、苦しい、いや  
そのことが今では良き思い出であ  
り、楽しい思い出であります。

現在の子供達、ましてやその親  
に話をして、すぐに「ウソー」  
と言われることが落ちですから余  
り話をしないようにしています。

さて、一九四五年に第二次世界  
大戦が終結し、現在までの約50年  
間で人類が億万年もの間、進化し  
てきた過程を生態学的にも機械的  
にも瞬時に縮めてきたのです。

つい百年前まで人間は歩くこと  
しか移動の手段は考えられず、ま  
た疫病が流行しても防ぐ手段はあ  
りませんでした。

今の便利さは35年前に比べ、考  
えられない程の進歩です。乗物、  
通信手段、電子機器等々、現在で  
はクローン技術を使って家畜まで  
もが…の時代になっています。

しかし「人の心」まで改変するこ  
とは難しいでしょう。また、一人  
で生きていくこともできないでし  
ょう。

その喜怒哀楽が自然の中で経験  
豊かに体験できるスカウト活動が  
低迷している訳は何なのでしょう  
か？…

「塊」から「個」の時代へと二  
ーズに追い付けない面もあるでし  
ょう。私は広報PRが下手、他団  
体や人達との付き合い下手、経済万  
能の時代にあつて指導者の確保難  
などだと思います。

来年は第13回日本ジャンボリー  
その様変わりもスカウトの生活も  
変革してきているが「心」だけは  
不変で、技術、科学万能の時代に  
あつても「百万一心」の心でスカ  
ウト運動が更に進展することを望  
んでいます。

# 老人ホーム訪問

## 光第2団ビーバー隊

9月15日光第2団ビーバー隊は下松にある「特別養護老人ホーム星の里」を訪問した。

前上隊長のもと総勢30名のスカウト・保護者・指導者は「老人ホームの歌」「サザエさんの踊り」「ドレミの歌」等で肩たたきや、じゃんけんなどをして入居者の方々と楽しい一時を過ごした。そして施設見学をしたあと、苑よりお礼にと昼食が出され、美味しいカレーライスをいただいた。



# 海の日 in 2001

みなでフェリーに乗ったよ

フェリーにのったこと  
岩国第3団BSV隊  
いわほり千明

フェリー

にのった。

あんまりふ

ねにのった

ことがなか

ったので、

きてよかつ

たなと思った。プールは小さかったけどたのしかった。うみをよく見るとクラゲがおよいでいた。

わたしは、水ぞくかんでしか見たことがないし、うみにおよぎにいくときは、しんでるクラゲしか見たことがないから、そのとき見たクラゲは足をうごかして、ちゃんとおよいでいるところが見えたから、すごくうれしかった。

フェリーにのって

柳井第1団CS隊はし本はやとぼくは、7月28日のたいけんじようせんでフェリーにのりました。フェリーにのって楽しかったことは、プールに入ったこ



とです。プールは、小さいけど田布施のカブスカウトと、友だちになってなかよくあそべてよかったです。

フェリーの上で、ひろごはんを食べたとき、すぐおいしかったです。おにぎり、2個だったので、ちよとプールのときおながへりました。

プールでちよつとおぼれました。ぼくは、おぼれた人のたすけかたのお話をおぼえておこうと思います。こんど、田布施や

ほかのたいといしよにかつどうする時も、いっぱい話していっぱいあそんで、友だちをふやしたいと思っています。

海の日記念の感想

田布施第1団BS隊 木下大輔

先日、海の日記念として防予汽船の中で救助訓練がおこなわれました。救助訓練の中では、とつさにできるかどうかの判断力が大事だと思いました。

海上保安庁の高速船が横を通っていき、船のまわりを三周ぐらいまわっていました。人の命を助けるために、高速船は、とても必要だと思いました。帰りに、船のプールに入れたこともとてもよかったです。

# みんなでボーフラ退治

萩第5団

萩市の各寺院においてボーフラの駆除作業を行いました。ボーフラとは夏の暑い時期に出てくる「蚊」の子供です。みんなで小雨の降る中一生懸命に作業を行いました。これで、今年の蚊の数も少しは減ったかもしれませぬ。



## さあみんなで「カントリー大作戦」 萩第5団

9月16日(日)に「カントリー大作戦」を行いました。幸い天気にも恵まれ萩市堀内地内をスカウト、指導者で歩きながら楽しく、そして、ひとつひとつ缶を拾っていきましました。近所に住む方から「きれいになるね。ご苦労さん！」と声をかけられスカウトの顔も笑顔、笑顔。隊舎に戻り、仕分けすると大きいビニール袋3個にもなりました。

## 錦川水の祭典奉仕

岩国暁団

毎年8月の第一土曜日に岩国の錦帯橋下流で行われる花火大会に、岩国暁団のボーイ隊・ベンチャー隊が奉仕しました。夕方になつてもまだまだ暑い中、汗をかきながら自転車の整理を行い、交通渋滞の解消に一役買いました。



案内役のリーダー 働くスカウト



わあ〜い、いっぱいあるね

## 青い目の人形

宗教委員会 菅野慶全

今日は、「青い目の人形」の話です。青い目で思い出すのは、青い目をしたお人形は、アメリカ生まれのセルロイド：。。。という歌。

さて、どういう事かといえはいまから74年前の昭和二年のこと。そう。。。勿論、まだ、このハンサムで若々しい隊長は生まれておりません。

強いて言えば、おじいちゃんおばあちゃんが、子供の時のこと。その頃、アメリカから約一万二千七百度もの人形が日本に贈られてきたのです。

皆、驚きました。目は青く髪は金色。。。寝かすと目をとじて「ママ」と泣くし、おこすと目をあける。着ているものだって自分たちとは違う。

「ねえ、これ、何という人形？」というわけで、おひな様といっしょに飾ったり、花をつんでは供えたりしたのですね。

実は、これはアメリカの子供たちが小づかいを出しあつては一体、また一体と購入し、自分

たちで洋服をぬつたものだったのです。勿論、アメリカのガールスカウトたちも小づかいを出しあいました。

なぜでしょう。？。なぜ贈られてきたのかのと言えば、その頃、日本とアメリカは仲が悪くなりかけていたのですね。

それを心から心配された「シドニー・ルイス・ギューリック」と言うアメリカの博士が「世界の平和は子供から」と、親善交流をねがって贈ってこられたのです。

博士は神学校を卒業され、日本に25年もいらした宣教師でした。スカウトの「ちかい」のなかに「神(仏)と国とに誠を尽くし、おきてを守ります」。

続いて「いつも他の人々を援けます」。とありますが、博士がまさしく、宗教を信じたお方だったゆえになされたことだったと言えるでしょう。

人間が生きることとは、人間でなければできないことに生きる事。隊長はスカウトが「ちかい」をたてて「ちかい」に生きるとは、その様なことだろうと思えます。

8月18日、徳山市長歓迎のもと、第1回山口ベンチャー大会が須々万の森にて開催された。受付を済ませると、てきぱきと設営を完了。やはり高校生スカウトだと感心した。「きらめく未来へ、輝けスカウト！」のテーマのもとに選択プログラム及び技能章取得を目指し取り組んだ。スカウトナイトは、地区の方々を招待し、各班の趣向凝らしたおもてなしが大変好評であった。18日、大型の台風が接近するとの情報があり、スタッフで対策を検討した結果、船釣りは中止、シーカヤックは島田川に変更して実施し、他のプログラムは予定通り続行することにした。

20日早朝、風が一段と強くなり危険なため大会の一日短縮を決断。撤収作業をしながら午前中に森林組合による森林実習を行い、森林の必要性を学んだ。その後、台風の影響による雨中での閉会式で第1回ベンチャー大会は無事終了し、スカウト達は足早に家路に向かった。

# 「第1回山口ベンチャー大会」



▲ 血と汗の代償・・・慎重に！



▲ 想いにふける人、寝っころがる人・・・我介せず

▼ 現地調達ゆがんだ国旗掲揚柱で・・・



▲ この後、どうなったんだろ？

▼ 木工の基本?? ノコが地ベタに!!





▲まずは基礎訓練から

▼ズブ濡れの人もありましたっけ



▲いざ、出発じゃー

▼てな訳で、この漁果



▲こちらはリラックスムード

▼「えー、この山懐へ ようこそ・・・。」



### ベンチャー大会に参加して

#### 防府第8回 嶋津広之

8月18日から開催されたベンチャー大会に参加した。

初日は、会場に行くのに、ほとんど山奥に入って行き、とても心配でした。会場に到着するとすぐに班分け、オリエンテーションがあり、あつという間に一日が終わりました。

二日目、カヤックを島田川でやりました。最初は思うように

できなかつたけど、慣れてきたらスムーズに進むようになりました。夜はパーティーがあり、とても楽しく過ごせました。

三日目は、台風が接近してきており、危険なため一日早く、テントの撤収を済ませ、解散となりました。とても有意義な三日間で、今後もベンチャースカウトとしてしっかりやっていこうと思いました。

最後に、スタッフの皆さんご苦労さまでした。

## 第13回日本ジャンボリー (第23回アジア太平洋地域ジャンボリー)



### 会場豆知識

ジャンボリーが開催される舞洲(まいしま)は大阪湾を埋立てしてできた224万㎡の人工島。舞洲の西部にある「舞洲スポーツアイランド(130万㎡)」がジャンボリーの会場となる。

### 日本ジャンボリーの歴史

回数	開催年	開催場所	参加人員
第1回	1956年	長野県 軽井沢	13,000人
第2回	1959年	滋賀県 あいば野	17,000人
第3回	1962年	静岡県 御殿場	26,000人
第4回	1966年	岡山県 日本原	30,000人
第5回	1970年	静岡県 朝露高原	32,600人
第6回	1974年	北海道 千歳原	26,700人
第7回	1978年	静岡県 御殿場	26,270人
第8回	1982年	宮城県 南蔵王	30,144人
第9回	1986年	宮城県 南蔵王	30,173人
第10回	1990年	新潟県 妙高高原	30,972人
第11回	1994年	大分県 久住高原	30,914人
第12回	1998年	秋田県 森吉山麓高原	26,740人
第13回	2002年	大阪市 舞洲	2万人

### 第13回日本ジャンボリー大会概要

主催：ボーイスカウト日本連盟  
 テーマ：『新しい時代の風をうけて』  
 - とびだそう 人と文化の森へ -  
 期間：平成14年8月3日～7日  
 会場：大阪市 舞洲スポーツアイランド  
 (山口県連盟は4隊で参加。9SCに所属)

お風呂？は、とつても冷たい水に入るのだ。これはすごく勇気がいることであつたが、入るとすごく気持ち良かった。でも、目玉行事はカヌーとヨットの研修です。特にカヌーには興味津々。初めて乗るんだけどちゃんと前に進むんかいな。いよいよ始まり、溝部リーダーの指示で救命胴衣を着用し、かいの扱い方を習ったかと思つた艇の移動。あれ、もう乗れちゃうのかな？。そう、もう乗れちゃうんです。乗り方を習い、どんどんこいで沖へ。水面を自由に動き回れるってことは、なん

### 第1地区班長・次長研修会

#### 第1地区

田布施小坂野営場で7月20～22日に行なわれた班長・次長研修会へ参加した。

食事は隊炊事で、牛タンシチュー・たこ飯・ローストチキンなどなど、どうです豪華メニューでしょう。味？。そりゃーおいしかったですよ。



て気持ちいいことだろう。結構スピードも出るようになったぞ。調子に乗ってどこまでもこいでいたら帰りは疲れてしまった。とてもいい経験をさせてもらった研修会でした。



### 東光寺 献灯奉仕

#### 萩第5団

8月15日(水)萩市の東光寺において献灯奉仕を行いました。今年は訪れる方も多く、みんな真剣な顔で取り組みました。献灯奉仕とは、灯ろうの中間にろうそくを立てて火をつけて先祖をお送りするという行事です。私たちスカウトは灯ろうの中に火をつけ、その火が消えないように見張りをするのが役目でした。大勢の訪れた方々はその火の美しさにしばらく時を忘れていたかのようでした。

# 名物リーダー紹介



深い森に  
囲まれ集会  
をするには  
申し分のな  
いほどの広

さの野営場を持ち、伝統を重ん  
じる小野田第一団のボーイ隊長  
伊藤和久さんを紹介します。

豊富な知識と優れた技能でボ  
ーイ隊のリーダーとしては欠か  
せない存在です。キャンプでも  
しようなものなら起床から消灯ま  
でプログラムは正確で行動もメ  
リハリがついていて徹底してい  
ます。朝礼や敬礼もしっかりし  
ていて、市外や県外等、全国大

## きらら博へレッツゴー

### 萩第5団

8月26日(日)に、萩第5団指導者、  
スカウト、保護者で「きらら博」へ出  
かけました。この日は絶好の天気であ  
場に着いたとたんに、みんなおおはし  
ゃぎ！。いろいろなパビリオン、施設  
を見学しました。

時間のたつのがあっという間で名残  
惜しそうに家路につきました。



会ではまずそういった所に驚か  
される人が多いようです。

ロープワークや野外炊事など  
知ってることも多くキャンププ  
アイヤーやセレモニーではスカ  
ウト達と一緒に楽しくて楽しん  
でくれます。

隊集会が終わった後、送って  
もらったりもします。集会が終  
われば隊活動の話はせず学校の  
ことや進路のことなど人生の先  
輩としても色々教えてくれる面  
倒みのよい隊長です。

現在、小野田第一団のボーイ  
隊長として頑張っているよう  
です。今後も優秀なスカウトを  
育成し社会へ輩出してほしいも  
のです。



## スカウトのための登山講座

登山家 宇部第15団 原山城峯

### 「食料計画 その3」

#### ・食材の選択

食材はザックに入れて運ぶの  
ですから、食材の選択には「保  
存」と「携行」という二つのポ  
イントがあります。

#### ・保存について

肉や野菜といった生物の食材  
は、常温で長期の保存は出来ま  
せん。痛みやすい食材はなるべく  
避けるようにします。

どうしても使いたい場合には  
行動日程の中でも早い時期に食  
べるようにするか、味噌漬や塩  
漬などの工夫が必要です。

いづれにしても、生のまま食  
べるのはなるべく避けて、火を  
通すメニューにしましょう。

#### ・携行について

食料のかさを減らすために、  
箱や袋に入った食材は出してお  
きます。また、こうすることによ  
って、ゴミの減量にもなりま

す。ジャガイモなどは、皮をむ  
いておいたり一口大に切ってお  
くと、かさが減ってゴミも減り  
ますし、調理にも便利です。た  
だし、一度水に濡れた野菜は、  
保存性が落ちるので注意が必要  
です。

#### ・便利な食材

缶詰やレトルト、そして最近  
は乾燥食品の良いものが増えて  
います。これらを利用するの  
もよいでしょう。

米という乾燥米は、上手に  
戻せば炊いたご飯に比べても遜  
色ありませんし、乾燥野菜など  
も味が良くなっています。

レトルト食品の多種多様につ  
いては言うまでもありません。  
缶詰は、空き缶処理の問題な  
どから最近では敬遠される傾向に  
あります。これらの食材は簡単  
で便利なものですが、そのまま  
食べるのは芸が無いばかりか、  
味気ない食事になってしまいま  
すので、少し工夫して利用する  
ようにしましょう。

# スカウト君

作：おだゆきな



## 訃報



B S 山口県連盟先達 太田耕作氏

昭和26年、防府第1団の発団と同時にボーイ隊隊長。昭和30年山口県連盟初代コミッショナーに就任。以後、進歩委員長、広報委員長、県連副理事長を歴任され、スカウト活動に多大な貢献をされた。

平成9年 県連盟先達に推挙、平成13年6月7日逝去されました。謹しんで御冥福をお祈り申し上げます。(享年77歳)

## 表彰

次の方々が受賞されました。心よりお祝い申し上げます。(敬称略)

### 叙勲

- ・勲六等単光旭日章(故)太田耕作(元県連盟副理事長) 平成13年度山口県知事顕彰
- ・青少年指導者 小松崎洋二(下関第11団) 平成13年度山口県青少年育成県民会議会長表彰
- ・青少年団体 山陽第1団
- ・青少年指導者 竹本博信, 羽村特美, 棟近隆(岩国第1団) 山本隆幸(光第2団) 池田信幸(小野田第1団) 坂井真理子, 中野朋子(山陽第1団) 大塩日出夫, 吉武妙子(下関第11団)

## 24時間TV募金

岩国曉団

平成13年8月19日南岩国イズミ店を会場に行なわれた24時間TVの募金に参加しました。少しでも協力したいと通路に乗り出してしまい隊長に怒られてしまいました。集めた募金が役に立つといいな。



## あとがき

私が広報委員長に就任して早1年が過ぎた。就任当時、なぜ編集に「ど素人の俺が？」と随分ぼやいたものです。だけれど広報委員達との出会いがありました。彼らは「百万一心」編集のため一所懸命頑張っている素晴らしい仲間達です。ただ「百万一心」の原稿が集まらないのが頭痛の種です。皆さん原稿集めに協力をお願いします。それも期限までに。...もつと、もつと良い「百万一心」を作るために。...

T・H

編集責任者：広報委員長 羽村特美  
 印刷所：藤田謄写堂  
 長門市東深川892-9 (0837)22-2369  
 スカウト活動のお問い合わせは

山口県連盟事務局 mailアドレス：bsymg@ymg.urban.ne.jp  
 山口県連盟HP http://www.ymg.urban.ne.jp/home/bsymg/